

## 人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

### 【県立高校が取り組む教育の重点】

#### 1 挑戦する意欲を引き出す教育

- ◆ 多様な価値観に触れ、互いに高め合うことのできる学習環境の整備
- ◆ 経済社会のグローバル化への対応とICTを活用した教育活動の推進

#### 2 学力の向上に向けた取組み

- ◆ 確かな学力の定着と中高連携の取組みの推進
- ◆ 自ら学び考える主体的な学習への転換と探究型学習の推進

#### 3 地域を支える人材の育成

- ◆ 生命や伝統文化を継承し、地域社会の発展を担う人材の育成
- ◆ グローカルな視点を持ち、地域産業の振興を担う人材の育成

#### 4 幅広い選択肢の確保

- ◆ 望ましい学校規模と幅広い選択肢を確保した再編整備
- ◆ 小規模校での教育の質の確保とキャンパス制や地域と連携した教育活動の充実

#### 5 キャリア教育の充実

- ◆ 体験的な活動を通じた望ましい勤労観・職業観の育成
- ◆ 高校卒業者の県内定着や県外進学者のUターンを促す取組みの推進

#### 6 多様な生徒の学びの場の確保

- ◆ 「学び直し」など多様な学習ニーズへの対応と夜間定時制の昼間定時制への移行
- ◆ コミュニケーション能力の涵養と自立に向けた支援の充実

### 【県立高校再編整備の基本方針】

#### ● 各学科の配置

- (1) 普通科及び普通系の専門学科(理数、体育、音楽)
  - ◆ 8地区ごとに、大学等への進学を希望する生徒への指導体制を整えるために望ましい規模の学校を少なくとも1校配置します。
  - ◆ 必要に応じて、普通科高校(普通系の専門学科との併設校を含む)の再編や「探究科」など新たな学科を設置します。
- (2) 職業に関する専門学科(農業、工業、商業、水産、家庭(含福祉)、看護、情報)
  - ◆ 地域産業や社会の情勢を踏まえ、生徒数の減少に伴う一律的な削減は行わず、全ての学科の学習の場を確保します。
  - ◆ 1学年当たり4学級以上の単独校については、原則として単独校として維持します。
  - ◆ 1学年当たり4学級を下回る単独校については、当面は単独校として維持しながら、更に小規模化が想定される場合には、他学科との再編を検討します。
- (3) 総合学科
  - ◆ 8地区ごとに、少なくとも1校配置できるよう検討します。
  - ◆ 更なる設置については、生徒・保護者や地域社会のニーズを踏まえて検討します。

#### ● 特色ある学校の配置

- (1) 総合選択制
  - ◆ 学校や地域の実情に配慮し、高校教育における質の確保・向上と学校活力の保持の観点から、小規模化する専門高校等を再編し、学科の枠を越えた学習ができる総合選択制高校の設置を検討します。
- (2) 中高一貫教育
  - ◆ 庄内地区については、東桜学館中学校・高等学校の取組みや、全国の併設型中高一貫教育校の成果を踏まえ、地域の意見を聞きながら設置を検討します。
- (3) 普通科単位制(全日制)
  - ◆ 学校独自の科目を含む充実した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望や学習要求にきめ細かく対応する全日制の普通科単位制高校を、8地区ごとに、少なくとも1校配置します。
- (4) 定時制・通信制
  - ◆ 夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制への移行を検討します。
  - ◆ 多様な生徒が、それぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの高校を、庄内地区に設置することについて検討します。

□お問い合わせ：山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室  
〒990-8570 山形市松波二丁目8-1  
☎：023(630)2493 / FAX：023(630)2774

□ホームページ：http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700013/kokokaikaku/

【平成 27 年度～32 年度の年次計画と各地区の再編整備】(○:1 学級減 ☆:学科改編等 ☒:募集停止 ◆:分校化) ※人数は中学校卒業業者数及び今後の見込数、○内の数は学級数

学区	26 年度 学級数 中学校卒業業者数	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	各地区の再編整備				36 年度 学級数 対 26 年度生徒数
								33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	
東	75 学級 ・東南村山 61 ・西村山 14 4,369 人	キャンパス制 寒河江+谷地 寒工+左沢 4,309 人	○山形中央(普) 4,184 人	○山形西(普) 4,219 人	☆山形東(探②・普④) ☆寒河江(探コ①・一般コ④) 4,245 人	○山形南(普) ○上山明新館(普) ○谷地(普) 3,921 人	○左沢(総) 3,890 人	東南村山地区検討委員会	東南村山地区の再編整備		66 学級程度 ・東南村山 54 ・西村山 12 ▲575 人	
	4,369 人	4,309 人	4,184 人	4,219 人	4,245 人	3,921 人	3,890 人	3,839 人	3,889 人	3,859 人	3,794 人	▲575 人
北	31 学級 ・北村山 14 ・最上 17 1,624 人	◆新庄神室産業高校 真室川校 キャンパス制 新北+最上 新南+金山 神室+真室川 1,705 人	楯岡(普) 東桜学館 中・高 1,674 人	○新庄南(普) 1,714 人	○北村山(総) ☆新庄北(探コ①・一般コ④) 1,619 人	1,615 人	最上地区の再編整備 再編整備計画に基づき、学校の配置、学科構成、昼間定時制の設置について具体化し、再編整備を行う。				25 学級程度 ・北村山 13 ・最上 12 ▲304 人	
	1,624 人	1,705 人	1,674 人	1,714 人	1,619 人	1,615 人	1,622 人	1,417 人	1,467 人	1,451 人	1,320 人	▲304 人
南	42 学級 ・東南置賜 30 ・西置賜 12 2,073 人	キャンパス制 長工+荒砥 2,046 人	○米沢工業(工) 2,140 人	東南置賜地区検討委員会		○南陽(普) ☆米沢興譲館(探②・普③) ☆長井(探コ①・一般コ④) 1,916 人	○小国(普) 1,865 人	東南置賜地区の再編整備				35 学級程度 ・東南置賜 25 ・西置賜 10 ▲304 人
	2,073 人	2,046 人	2,140 人	2,042 人	1,916 人	1,865 人	1,829 人	1,718 人	1,759 人	1,757 人	1,769 人	▲304 人
西	55 学級 ・田川 32 ・飽海 23 2,784 人	○鶴岡工業(工) ○酒田光陵(商) ☆遊佐(普→総) キャンパス制 鶴南+山添 2,624 人	○酒田光陵(普) 2,618 人	○庄内農業(農) 2,635 人	○鶴岡北(普) ○酒田西(全・普) ☆酒田東(探②・普③) ☆酒田西(定)→昼間定時 2,496 人	○鶴岡中央(総) ○酒田光陵(工) 2,406 人	☒鶴岡南山添校(普) 2,302 人	田川地区の再編整備 再編整備計画に基づき、学校の配置、学科構成、定通併設高校等について具体化し、再編整備を行う。				42 学級程度 ・田川 24 ・飽海 18 ▲636 人
	2,784 人	2,624 人	2,618 人	2,635 人	2,496 人	2,406 人	2,302 人	2,203 人	2,250 人	2,184 人	2,148 人	▲636 人
計	203 学級 10,850 人	2 学級減 10,684 人	3 学級減 10,616 人	3 学級減 10,610 人	4 学級減 10,276 人	6 学級減 9,807 人	2 学級減 9,643 人	15 学級程度減				168 学級程度 ▲1,819 人
	10,850 人	10,684 人	10,616 人	10,610 人	10,276 人	9,807 人	9,643 人	9,177 人	9,365 人	9,251 人	9,031 人	▲1,819 人

《 県立高校の再編整備に関する基本方針 》

- (ア) 再編整備による新しい学校づくりなどを通して、高校として望ましい学校規模(1 学年当たり 4～8 学級)を確保し、教育の質的な向上と学校の活力の保持を図ることを基本とします。なお、1 学年当たり 4 学級を下回る学校については、キャンパス制の導入や地域との連携等により、教育環境の改善に努めます。
- (イ) 1 学年当たり 2 学級の学校については、入学者数が 2 年連続して入学定員の 3 分の 2 に満たない場合は、その翌年度から入学定員を 1 学級分に減じ、更にその 2 年後に分校とします。ただし、この基準の適用に当たっては、学科等の特殊性や交通事情等の地域の実情に十分に配慮します。
- (ウ) 1 学年当たり 1 学級の学校※については、入学者数が 2 年連続して入学定員の 2 分の 1 に満たない場合は、交通事情等の地域の実情に配慮しながら、原則としてその 2 年後に募集停止とします。 ※この場合、分校も 1 つの学校と見なします。

